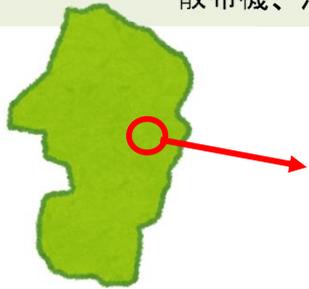


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成29年度:計画作成主体:舟形町農業再生協議会)(山形県)

取組の概要

- 対象品目 : 露地野菜(アスパラガス)
(産地面積3.5ha)
- 主な取組主体 : 舟形町アスパラガス生産組合
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
基準(H28年度) 642千円/10a
目標(R2年度) 733千円/10a
- 導入施設等 : 生産支援事業(資材費:支柱、直管パイプ等一式、機械リース:堆肥散布機、灌水ポンプ一式)



山形県
舟形町
舟形町全域

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

アスパラガスは収益性が高く、農業所得の増大につながるため、当産地では規模拡大が進んでいる。しかし、さらに作付面積を拡大し、地域の収益性向上を図るには、施肥作業の省力化など、効率的な作業体系を確立する必要がある。そのため、長期立茎栽培に要する資材と作業負担軽減に資する機械の導入により、高品質安定生産に取り組み、販売額の増加を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ① アスパラガスの圃場を整備し作付面積を拡大するとともに、栽培技術の向上に取り組み、農業所得の増大を目指す。
- ② 堆肥散布機の導入により堆肥散布作業を効率的に行い、栽培規模の拡大と省力化を図る。
- ③ 長期栽培に耐えうる支柱及び灌水設備の導入により、高収量を上げる為に欠かせない土壌水分を確保し、安定した収量を確保する。

産地体制

- ・山形県最上総合支庁
農業技術普及課
農業振興課
- ・舟形町
- ・JA新庄もがみ
(JAおいしいもがみ)

舟形町農業再生協議会

- ① 計画の策定・管理
- ② 取組計画への助言

情報共有

取組主体

- ① 取組計画の作成
- ② 取組実施 等

- ・取組主体と協議会、行政やJAとの情報共有(取組状況、販売等)

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・若手アスパラガス農家向けの研修会を開催し、意見交換や栽培技術研修を通して、産地品質の高位平準化を企図

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ・栽培管理の省力化、簡易化による単収増加を実現し、農業所得が向上

【事業実施による間接効果】

- ・取組者の成功例が地域に波及

**販売額が
50.0%増加
(達成率352.7%)**

